

地方創生関連事業の進捗状況

総合政策課総合政策係 ☎ (63)2146

人口減少が加速する中、全国各地で進められている「地方創生」の取り組み。
本市では、令和元年度に「ひと・まち・しごと創生 鹿沼市総合戦略」を2年間延長（平成27年～令和3年度）し、国の地方創生交付金等の支援を活用しながら、さまざまな取り組みを継続的に実施しています。
今回は、令和元年度における各事業の実施状況を紹介します。

地方創生とは…

雇用の創出、移住・定住の促進、子育て支援などにより、都市への人口流出、出生率の低下による人口減少を改善する政策です。



▲ マカ栽培実証実験



▲ 「いちごっこ広場」で遊ぶ様子

中山間地域における新規作物の導入と農林商工連携による6次産業化

中山間地域の新たな農業収入確保や、本市の特産品であるいちごやかめま和牛などの新商品開発・販売促進による産業活性化を図るため、市内5地区でのマカ（※）栽培実証実験や「農林商工連携・6次産業化推進協議会」による試作品の商品化・新商品開発に取り組む事業者への支援を行いました。

※マカは南米ペルーのアンデス山脈に自生する植物の一種で、本市では中山間地域を中心に栽培され、栄養価が高いためスタミナ源とされています。

いちご市かめまの多世代交流拠点施設整備事業

天候に左右されることなく、子どもたちが元気に遊び、子育て世代をはじめとする多世代間での交流ができる施設「いちごっこ広場」を市花木センターに整備しました。

また、効率的な施設管理運営や収益向上を図るため、いちごハウス2棟を整備しました。

●その他の事業

事業名	事業の目的	令和元年度の主な実績
木材・木工品の海外展開基盤整備事業	市内木材・木工製品の海外販路開拓	海外市場調査の実施
ツール・ド・とちぎ（またはスポーツ）を核とした地方創生推進事業	自転車を通じた地域活性化	自転車レース「ツール・ド・とちぎ」の開催支援
生活交通と観光交通の融合によるまちづくり	最適な公共交通、観光二次交通の確立	バスガイドマップの作製
企業版ふるさと納税の活用	民間事業者からの寄付による、行政・市民・事業者が一体となった地方創生	寄付企業数：1社

令和元年度の実績について、令和2年5月に有識者からの意見を集約し、次年度の事業に反映しています。